

タイムテーブル

時間	作業内容
0:00-0:25	(参加者を7名前後の4グループに分ける) 医師の仕事とは 主に患者を診て、問題解決の手助けをする。 本日用うことの説明
0:25-0:30	導入のためのビデオ視聴を行う。(東山鶴夫さん 40歳 5日ほど前から咳と熱)
0:30-1:05	グループワーク① 患者の診断に必要と思われる情報を、資料を基にしてグループ内で話し合う。この間、講師(安井、青松両先生)が机間観察を行い、質問への回答、必要なグループに対する修正の提案等を行う グループごとで問題へのアプローチの仕方は異なる。
1:05-1:20	それまで調べた内容をグループごとに中間発表する。
1:20-1:35	休憩
1:35-2:00	グループワーク② 患者に聴きたいことや診察でチェックする項目のリストを各グループで作成する。
2:00-2:15	模擬医療面接
2:15-2:45	シミュレータで身体診察を行い、身体所見を得る。(全員) 呼吸音の分類についての講義
2:45-3:00	医療面接および身体所見から考えられる診断を各グループで挙げる。
3:00-3:10	実際の医師が行う診療の流れをビデオで示し、シナリオや診療において医師が考察していることなどの解説をする。 病名「肺炎球菌性肺炎」
3:10-3:20	まとめ 医師が行っている思考の流れ: 仮説演繹法